

鳥取県ペットツーリズムの基礎づくり

1. 事業実施団体

【鳥取県ペットツーリズム協議会（倉吉市）】

鳥取県内におけるペット同伴の余暇活動を推進するために必要な条件整備、情報発信、普及活動等を関係団体と連携し、県内観光の活性化を目的として設立された団体。

2. 県の協働担当課

【観光戦略課】

鳥取県の観光振興を担当する部署。地域及び経済の活性化を図るため、自然・歴史・文化などの観光資源の掘り起こし・磨き上げや、来訪者を温かく迎える意識の醸成など、本県の観光魅力の向上を図るとともに、国内外からの観光客誘致を図っている。

【中部総合事務所県民福祉局】

中部地区（倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町、琴浦町）の地域活性化支援を担当する部署

3. 課題及び目的

ペットは増加傾向かつ家族同然の扱いになってきており、ペット同伴での旅行ニーズは今後も高まると予想されるものの、県内にペット同伴可の宿泊施設、観光施設、飲食店等は少なく、ペット同伴での旅行を希望する方へ届く情報発信も十分ではない。

また、宿泊先を確保している旅行者も、旅行先となった県内の観光施設や公園、店舗において同伴可能との案内も無いことから同伴をためらわれることで、旅行の満足感の低下につながり再度の来県の選択肢から外れてしまうことにつながる状況となっている。

このことから、県内のペット関連の周辺環境の調査により課題把握を行うとともに、受入施設側のサービス向上、ペット同伴者のマナー向上、ガイドラインの作成等、県内各エリアでペット同伴観光客等を受け入れるための仕組みづくりを行うことを目的とした。

4. 課題解決の手法

（1）鳥取県ペットツーリズム協議会の設立

- ・ペットツーリズムの受入体制の基盤となる協議会を設立する。
- ・協議会のサポーター会員を募集する。

（2）ペット同伴施設の開拓&情報収集・発信、ネットワーク形成

- ・ペットツーリズム先進地の事例研究を行う。
- ・県内のドッグラン施設、観光施設、イベント等でペット同伴に関する整備・利用状況を調査する。
- ・県内で開催されるペット関連のイベントへ参加し、ネットワークの形成を図る。
- ・協議会サポーターと連携し、ペット同伴に関するアンケートやマナー周知活動を行う。
- ・県や地域活動団体と連携して、ペット受入モデル事業を実施する。
- ・客室等でペットと一緒に宿泊するための施設整備を行う。

（3）ペット同伴者に向けた情報発信の強化

- ・鳥取県ペットツーリズム協議会の公式ホームページを開設する。
- ・ペットの入店可否を判別できるピクトグラムシールを作成する。
- ・県観光連盟の協力を得て、同連盟のホームページで県内の「ペットと泊まれる宿」を紹介する。

5. 主な役割分担

【事業実施団体】

- ・ペットツーリズムの啓発普及
- ・ペットツーリズムに関連した情報発信
- ・受入体制整備におけるネットワーク体制の強化、人材育成

【行政】

- ・ペット関連施設等の情報提供
- ・ペット同伴者へのマナー、ガイドライン、マップの周知協力
- ・県の関連施設等との連携調整



6. 取組と成果

(1) 鳥取県ペットツーリズム協議会の設立

- 令和4年4月に民間団体が主体となり受入体制の基盤となる協議会を設立し、今後の事業の発展と継続につながる基盤ができた。
- セミナーや勉強会の開催を通じて、サポーターの会員の勧誘を積極的に行い、会員登録数が令和4年度12件から令和5年度30件に増加した。会員の増加により、イベントへの出店や情報収集の機会が増え、活動の周知につなげることができた。

(2) ペット同伴施設の開拓&情報収集・発信、ネットワーク形成

- ワンコネット那須協議会（栃木県那須市）の森村代表を講師に招き、ペットツーリズム推進に関するオンライン講演会を開催した。

【講義内容】

- ワンコネット那須協議会について、設立経緯と組織、活動状況
- 地域活性化の事例紹介
- ネイチャーツーリズムとペットツーリズム
- 計画策定期間中（令和4年7月～12月）に市場調査を行った結果、申請前に想定していた以下の問題点が顕在化した。

【問題点】

- ペット同伴可の宿泊施設、観光施設、飲食店が少ない
- ドッグランが少ない
- ペット同伴者に向けた情報発信が少ない
- 協議会サポーター等と連携してイベントの開催や出店を行い、参加者を対象にしたペット同伴者の状況把握、アンケート調査及びマナー周知を行った。

(主催分)

日付	イベント名(会場)	連携先
10/21	飼い主さんのための DOG SCHOOL(倉吉市)	スマイル DOG
10/22	ワンちゃんと一緒にカヌー体験会(湯梨浜町)	協議会サポーター: café ippo

(出店分)

日付	イベント名(会場)	連携先
5/28	「ひげらぶ」(米子市)	協議会サポーター: ネコカフェ KURO
9/18	ウメちゃん王国 短足ミーティング(米子市)	協議会サポーター: ウメちゃん王国
9/24	動物愛護フェスティバル(倉吉市)	山根動物病院、人と動物の愛護センター・アミティエ(鳥取県動物愛護センター)
10/9	旧国鉄倉吉線廃線跡 ウォーキングドッグデー2023(倉吉市)	倉吉観光 MICE 協会
10/29	～もっと芝生でワンダフル～ ワンちゃんパーク in グリーンフィールド(鳥取市)	協議会サポーター: リクワンカフェ
11/22	鳥取県主催イベント(米子市)	協議会サポーター: ann

- ペット同伴による観光客の増加と地域振興を目指し、県や地域活動団体と連携し、指定管理施設（中国庭園 燕趙園）でのペット受け入れモデル事業の調整を行った。宮本神社の Hau' oli (ハウオリ) の取組（愛犬と一緒に祈願）とコラボして、燕趙園で犬同伴者を対象にした中華コスプレによるフォトイベントを計画していたが、実施直前に施設スタッフに動物アレルギーが発生し、イベントを中断した。イベントは未実施となったが、地域と連携したペットツーリズムについて認識を高めることができた。
- 「宿泊施設魅力アップ補助金」を活用して、客室等でペットと一緒に宿泊するための施設整備を行った。



ペット同伴宿泊施設(わんにゃんリゾート KURAYOSHI 別邸葵町)

(3) ペット同伴者に向けた情報発信の強化

- 協議会の公式ホームページを開設し、県内のペット同伴が可能な各種施設の情報、エリアマップ、サポーター会員のイベント情報などの発信が可能となった。ペットについてのマナーやルール、県内の動物病院や迷子になったときなどの役立ち情報も掲載し、ペットツーリズムの推進につなげることができた。



- ・県内各施設のペットの受け入れ状況が一目でわかるピクトグラムシールを作成し、希望する施設・店舗等に配布した。利用者と施設側双方のマナーに対する理解を高め、誰もが利用しやすい環境整備を進めることができた。
- ・協議会の依頼により、県が鳥取県観光連盟との調整を行い、同連盟の協力を得て、連盟のホームページで県内の「ペットと泊まれる宿」を紹介することができた。ペット同伴者が情報を得やすくなり、ペットツーリズムの推進による県外からのペット同伴観光客の増加が期待できる。



7. 事業終了後の状況

- ・県内のペット同伴可能施設を掲載したエリアマップや公共エリア等で快適に過ごすためのマナー等を公式ホームページに掲載し、サービス面・マナー面の両方の向上を図っている。
- ・ペット同伴可の宿泊・観光施設、飲食店等の増加を目指し、勉強会等の開催を検討している。
- ・県内には、鳥取砂丘や東郷湖周辺、大山など、犬と一緒にウォーキングを楽しめる観光地が多いため、ペット同伴の観光客に満足してもらう仕組みづくりを進めていく。
- ・今後の事業を推進していくためには、組織体制の強化、会員数の増加を図る必要がある。